

登別市事業仕分け調書

平成21年度作成

番号	9	事務事業名	市民農園に要する経費
----	---	-------	------------

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産G
-----	-------	-------	-------

事務事業コード	22141001	事業開始年度	平成 1 2 年度	事業終了予定年度	平成 - 年度
---------	----------	--------	-----------	----------	---------

関連事務事業名	
---------	--

事務事業の実施根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等)	種別	5 市単独で実施している事務事業
	法令等名	特定農地貸付けに関する農地等の特例に関する法律
	法令等の内容	農園開設者である市が、農業者から農地を借り受け、農業委員会の承認を得て、利用者に貸付けを行なうための法律

実施方法	市が直接実施
	民間等へ業務委託または指定管理 (委託先:)
	補助金 (補助先:)

事務事業の目的と内容

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか。地域や年齢等が限定される場合は詳細に記入)
	市民

事業の目的	(何のために事業を実施したのか。または何のために事業を実施しているのか)
	市民の皆さんが市民農園において、野菜・花の栽培等の農作業を体験することで、自然とのふれあいや、健康でゆとりある市民生活の確保と、利用者同士の交流を図りながら、農業への理解を深めていただくために開設しています。

事業の内容	札内に市民農園を開設
	区画数 50区画 1区画面積 49㎡ 開園期間 4月下旬～10月 利用料金 7,000円/区画 設備等 駐車スペース、水道施設、簡易トイレ、鹿よけネット 募集方法 広報4月号、市ホームページにて募集。定員オーバーの時は抽選 その他 抽選会時に専門家による野菜栽培方法の指導及び管理人による現地指導、農園の維持管理

事業費

区 分		単位	19年度 決算額	20年度 決算見込額	21年度 予算額
事業の 財源 内訳	国庫支出金 名称	千円			
	道支出金 名称	千円			
	その他 名称 市民農園利用料	千円	315	405	350
	地方債	千円			
	一般財源	千円	173	52	216
合 計			488	457	566
上記事業を実施するために 必要となる人件費(概算)	職 員	千円	388	384	354
	嘱 託 員	千円	0	0	0
	臨時職員	千円	0	0	0
	合 計		388	384	354
総合計(合計 + 合計)		千円	876	841	920

事業費 内訳	(21年度予算ベースの事業費の具体的な内訳【節名ごと】)	
	報償費 金品	210,000円(30,000円/月×7ヶ月 農園管理及び農業指導謝礼)
	需用費 消耗品費	30,000円(農園用トラロープ・垂木・鉄筋等)
	修繕料	100,000円(シカ避けネットの補修)
	光熱水費	20,000円(簡易水道料)
	役務費 手数料	2,000円(簡易トイレ汲み取り手数料)
	使用料及び賃借料	土地・建物質借料 14,000円(土地借上げ料) リース料 90,000円(簡易トイレ賃借料) その他の使用料・賃借料 100,000円(耕作機械借上料)

番号	9	事務事業名	市民農園に要する経費
----	---	-------	------------

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産G
-----	-------	-------	-------

活動実績

活動指標名 (事業のこれまでの実績【数量・回数・人員等】)	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込み)
利用された区画数	区画	45	58	52
前年に引き続いての申込者数	人	32	39	44

成果

事業の成果	(事務事業を実施したことでのどのような成果が得られたのか。現状の成果)
	<p>利用者の募集について、従来は広報紙及び市のホームページで募集を行っていましたが、平成20年度より、前年の利用者に対して、直接案内をすることで利用者拡大を図りました。結果、利用者が増加している状況にあります。</p> <p>利用者ニーズを把握するため、毎年、アンケート調査を実施しております。</p> <p>市民農園の魅力を探ねたところ</p> <p>「栽培での成長過程が楽しく、手作りで安心・安全な野菜が味わえる」</p> <p>「土に親しめ、健康に良く、自分で作物を作ることに価値がある」</p> <p>「利用者との交流や家族とのコミュニケーションの場がもてる」</p> <p>等となっており、市民農園の開設目的である、自然とのふれあい、農業への理解、利用者の交流促進、市民の健康や生きがいづくり等に貢献しているものと考えております。</p>

担当部による評価

事業の自己評価	(事業の今後の方向性、課題等)
	<p>市民農園は幅広い年齢層からのニーズが高く、年々、利用希望者も増加傾向にあること、また、今後も食への安全・安心に対する意識の向上や余暇活動の多様化などから、農業体験への関心が高まるものと推測されること等から、事業の継続が必要と考える。</p> <p>今後、利用希望者が増大した場合、現在の借り受けしている農地での対応が困難となるため、農園用地の拡大等が課題となっております。</p>

他の自治体の状況

比較参考値	(他の自治体での類似事業の状況)											
	胆振管内では、9市町10箇所の市民農園が開設されています。											
	伊達市市民農園											
	<table border="0"> <tr> <td>対象</td> <td>伊達市民</td> <td>区画数</td> <td>70区画</td> </tr> <tr> <td>1区画面積</td> <td>50㎡</td> <td>利用期間</td> <td>5月～10月</td> </tr> <tr> <td>利用料金</td> <td>5,000円/区画</td> <td>設備等</td> <td>駐車場、休憩所、簡易トイレ、水道</td> </tr> </table>	対象	伊達市民	区画数	70区画	1区画面積	50㎡	利用期間	5月～10月	利用料金	5,000円/区画	設備等
対象	伊達市民	区画数	70区画									
1区画面積	50㎡	利用期間	5月～10月									
利用料金	5,000円/区画	設備等	駐車場、休憩所、簡易トイレ、水道									
白老町民ふるさと農園												
<table border="0"> <tr> <td>対象</td> <td>白老町民</td> <td>区画数</td> <td>80区画</td> </tr> <tr> <td>1区画面積</td> <td>84㎡</td> <td>利用期間</td> <td>1年から最大5年まで選択可能</td> </tr> <tr> <td>利用料金</td> <td>5,000円/区画</td> <td>設備等</td> <td>水道施設、鹿よけフェンス</td> </tr> </table>	対象	白老町民	区画数	80区画	1区画面積	84㎡	利用期間	1年から最大5年まで選択可能	利用料金	5,000円/区画	設備等	水道施設、鹿よけフェンス
対象	白老町民	区画数	80区画									
1区画面積	84㎡	利用期間	1年から最大5年まで選択可能									
利用料金	5,000円/区画	設備等	水道施設、鹿よけフェンス									

特記事項

事業の沿革等	(事業の変遷)
	<p>都市住民と農村の交流、農作物の栽培や農作業を通じた教育への関心が高まっていたことから、市ではこれらのニーズに応え「人と自然とのふれあい」や「高齢者の生きがいづくり」、「健康の増進や親子のふれあい」の場として、また、農業・農村への理解や遊休農地の有効活用を推進するために、平成12年度に40区画、利用料金10,000円で市民農園の開設を行いました。</p> <p>平成12年度 利用者数 40名</p> <p>平成13年度 利用者数 39名</p> <p>平成14年度 利用者数 36名</p> <p>平成15年度 利用者数 40名 (利用料金を7,000円に改定)</p> <p>平成16年度 利用者数 40名</p> <p>平成17年度 利用者数 40名</p> <p>平成18年度 利用者数 41名</p> <p>平成19年度 利用者数 45名</p> <p>平成20年度 利用者数 58名</p>